



主日礼拝式プログラム 8:45~10:15am



## お知らせ

- 礼拝後10:30am 初心者クラス(関牧師 教育館2階)、分かち合いのクラス(教育館1階)、マタイ福音書クラス(アイゾン直子、第二、第三週 教育館2階) 初めての方もどうぞご参加ください。
- 本日は、受難節第二週目です。いよいよ主の十字架に想いを向けていきましょう。
- 本日2PMです。心に光を支援者大会  
会場: マキキ聖城教会 「心に光を放送」を祈りと献金をもって支えてください。
- 次週の礼拝では、聖餐式が持たれます。
- 「受難節 黙想の手引き」を受付で受け取ってください。ホームページから見れます。
- HCCカレンダー 若干在庫があります。
- 今月の連合アワー 毎日曜日8:15AM KZOOラジオAM1210は、関牧師の担当です。

献金



## 風の吹くままに

▼一つ、お詫びと訂正です。

棕櫚の主日(Palm Sunday)は、受難週の初めの主日、つまり3月24日(日)となります。私は、なぜか2月11日(日)を棕櫚の主日と伝えてしまいました。訂正いたします。

▼バラバと聞くと、どうしてもミッション・バラバがイメージされます。イエスさまを信じた元ヤクザの方々のミッション団体です。入れ墨をさらしながら、十字架をかついで踊り賛美している姿は感動でした。メンバーたちは、今も牧師、伝道者として主の働きに従事しています。

「誰でもやり直せる」これが彼らのメッセージでした。隠しておきたい過去をあえて告白し「恥は我が者、栄光は主の者」として、まさに身体を張って伝道しました。

この働きを通して、獄中でイエスさまを信じる者、後に続く者たちがたくさん起こされています。

こんな動画もYou Tubeにあげられています。  
<https://youtu.be/gfhre6ifM8Q?si=AuMHXBU-a7KhKHaj>

どうぞご覧ください。



関真士牧師  
sekishinji89@gmail.com

## 賛美

「偉大な光」

「私たちは一つ」

「イエスに栄光あれ」

「傷跡」

「主は我らの太陽」

讚美画 肥田仁司

献金

牧会祈禱&主の祈り

聖書箇所 マタイ福音書27章15節~26節  
佐々木朱美

メッセージ 「バラバとイエス」 関真士牧師

賛美 「主イエスの十字架の血で」

頌栄

祝禱

報告

会堂礼拝とオンライン礼拝が、主の御霊によって

一つとされ共に主を礼拝いたしましょう。

神の命令を守ること、それが神を愛することです。神の命令は重荷とはなりません。ヨハネの手紙 5章3節

### スモールグループの心得

心を傾けて聴こう、理解しよう、共感しよう。教えない、否定しない、批判しない。そのままを受け入れましょう。



### 分かち合いのポイント

- ①「釈放！」を伝えられたバラバの心境は？ イエスの十字架を眺めていたバラバの心境は？ 自分の体験と重ねることがありますか。
- ②赦しと許しの意味の違いを確認しましょう。
- ③「父の子供」としての自分。名目通りの者とされました。この恵みを分かち合いましょう。

ところで、総督は祭りのたびに、群衆のため彼らが望む囚人を一人釈放することになっていた。そのころ、バラバ・イエスという、名の知れた囚人が捕らえられていた。それで、人々が集まったとき、ピラトは言った。「おまえたちはだれを釈放してほしいのか。バラバ・イエスか、それともキリストと呼ばれているイエスか。」ピラトは、彼らがねたみからイエスを引き渡したことを知っていたのである。ピラトが裁判の席に着いているときに、彼の妻が彼のもとに人を遣わして言った。「あの正しい人と関わらないでください。あの人のことで、私は今日、夢でたいへん苦しい目にあいましたから。」しかし祭司長たちと長老たちは、バラバの釈放を要求してイエスは殺すよう、群衆を説得した。総督は彼らに言った。「おまえたちは二人のうちどちらを釈放してほしいのか。」彼らは言った。「バラバだ。」ピラトは彼らに言った。「では、キリストと呼ばれているイエスを私はどのようにしようか。」彼らはみな言った。「十字架につける。」ピラトは言った。「あの人があんな悪いことをしたのか。」しかし、彼らはますます激しく叫び続けた。「十字架につける。」ピラトは、語ることが何の役にも立たず、かえって暴動になりそうなのを見て、水を取り、群衆の目の前で手を洗って言った。「この人の血について私には責任がない。おまえたちで始末するがよい。」すると、民はみな答えた。「その人の血は私たちや私たちの子どもらの上に。」そこでピラトは彼らのためにバラバを釈放し、イエスはむちで打ってから、十字架につけるために引き渡した。

### ホノルルキリスト教会

2207 Oahu Avenue, HONOLULU, HI 96822  
日本語部 事務所 ☎ (808) 973-4335  
Email: office@honoluluchristian.church



## 週報



---ピラトは彼らのためにバラバを釈放し、イエスをむち打つた。十字架につけるために引き渡した。

詩篇100:1-4

全地よ 主に向かって喜びの声をあげよ。喜びをもって主に仕えよ。喜び歌いつつ御前に来たれ。知れ。主こそ神。主が 私たちを造られた。私たちは主のもの 主の民 その牧場の羊。感謝しつつ 主の門に 賛美しつつ その大庭に入れ。主に感謝し 御名をほめたたえよ。